

コード	301030405
記入日	H23.6.9

課コード	111
課名	健康保険課
課長名	富永 重利
担当者	近藤 聡

事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	東神ノ浦へき地診療所管理運営事務費
----------	-------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 ー 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	301	施策名称	健康を守りつくる保健・医療の充実	項コード	1.2
基本事業コード	30103	基本事業名称	地域医療体制の充実	目コード	1
事務事業コード	3010304	事務事業名称	診療所特別会計事業費	細目コード	770
関連計画			法令・条例規則等	町立へき地診療所条例	

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象しているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 診療所地域住民		(対象指標1) 診療所圏内住民	約275人			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・診療日 毎週木曜日 ・診療時間 午後1時30分から ・診療日数 47日 ・委託費 3,478,000円 (74,000円×47日)	*****	*****	*****	出張診療日数+出張診療予定日数	*****
		① 出張診療日数	52日	90%		平成22年度
		(達成率分析)	当初は診療日を52日予定していたが、祝日等で休診となった。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
	・常勤医師がいる医療機関まで遠く、利用者も高齢化し、通院が困難な状況であるため、地域住民の負担を軽減する。	*****	*****	*****	受診者数+当初予定受診者数	*****
		① 受診者数	207人	115%		平成22年度
		(達成率分析)	前年度受診者数などを参考に、約180人の受診者数を見込んだが、上回った。			
		②				
		(達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 日	295	290	243	52	47	52				
	②										
成果指標	① 人	1,197	1,224	1,017	180	207	200				
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	15,213	16,817	12,395	2,818	4,422					
直接事業費 A	千円	11,013	12,617	8,895	2,118	3,722					
人件費 B	千円	4,200	4,200	3,500	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.6	0.6	0.5	0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円	5,485	6,725	4,489	996	2,236				
	起債	千円									
	その他	千円	1,724	1,685	935	789	750				
一般財源	千円	8,004	8,407	6,971	1,033	1,436					

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	開設者である町が行うべきものである。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	医療業務は重要施策の一つであり、当然行うべきものである。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	委託契約書のとおりであり、適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	利用されている方々の負担は軽減されている。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	利用者からの不満等も聞かれなし、これ以上、向上させる理由はない。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	地域住民が医療機関を利用しにくくなり、健康への不安が懸念される。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	単一の事業であるため、他の事業との整理統合はできない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	医療行為は専門的な業務であり、削減はできない。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	必要最小限の人員で行っており、削減はできない。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	受益者は国が定めた医療費を負担している。

改善

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		有効性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		効率性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		課題に向けた改善策	特になし。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	地区住民の健康維持・管理のためにも医療機関との連携により、引き続き本事業を継続すること。
		効率性	医療機関との協議により適正に行うこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。